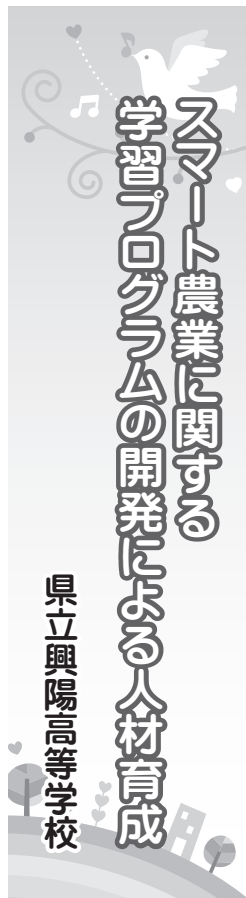




アシストスーツ

1 はじめに
本校は、農業・農業機械・造園デザイン・家政・被服デザイン等の5科15クラスに約580名の生徒が在籍する、農業と家庭の専門高校です。
世の中の技術革新が進む中、農業においても「スマート農業」が日進月歩で発展しています。



- 2 具体的な取組と成果
- GPSレーザレベラー
 - 直進アシスト付可変施肥田植機
 - ザルピオ（衛星写真によるリモートセンシングでの生育調査）
 - 収穫量マッピングコンバイン
 - アルスプラウト（低コスト環境制御システム）

本校では、令和元年度から、広大な農地を利用した最新のスマート農業を、企業の協力を得ながら学習に取り入れてきました。また、講習会を開催して県下農業高校にも普及をしてきました。今回は、これまでの取組とその成果を紹介します。



直進アシスト付可変施肥田植機

生徒は、これらの機器やアプリを使用してスマート農業をリアルに体感しています。そして、実際に連携した企業や関連産業

- ラズベリーパイ（簡易コンピュータ）を活用した低コスト自作環境制御システム
- アシストスーツ
- 高速土壌分析装置
- ファーモ（環境モニタリング装置）
- アグリノート（GAP認証用記録アプリ）

に就職した生徒もおり、手応えを感じています。
本年度から、農業科2年生の授業に学校設定科目「スマート農業」を開設しています。企業等の協力をいただきながら、これからも最新の技術を学習に取り入れ、生徒の主體的・対話的で深い学びを実現していきます。

3 おわりに

農業学科の生徒が、低食料自給率や後継者不足といった日本の農業の現状と課題、そしてそれを解決する手段のひとつとしてスマート農業を学ぶことはとても重要であると考えています。今後も企業等と連携して、生徒が最新の技術に触れる機会を確保し、将来農業に関わる人材と、農業を理解し支える人材を育成していきます。

（副校長 古澤 氏由晃）